

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (四国)	良くなる やや良くなる	—	—
		商店街（代表者）	・秋物商品が好調なので、冬物、クリスマス商品、冬物バーゲン等に期待が持てる。人の流れもイベントを中心に良く出ている。観光客の流れも来街者増につながっている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・年末年始の需要に期待したい。
		家電量販店（店員）	・冬のボーナス商戦を前に新機種が投入され、単価が上がる事を考えると売上額は増加していくと思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	・10月はエコカー補助金終了直後で落ち込みが最大だと思っている。この状況を回避する努力をする。
		タクシー運転手	・忘年会、新年会シーズンには、やや良くなると予想する。利用者は、通信や医療関係、県外資本の企業の方が多い。
		通信会社（営業担当）	・年末年始商戦期を迎え、新商品の発売時期となるためやや良くなると予想する。
		競艇場（職員）	・12月は賞金王、賞金女王、1月には正月レースの開催が予定されており、年末年始の曜日配列もよく、集客と売上増を期待したい。
		美容室（経営者）	・年末には来客数が増えると思う。
	変わらない	商店街（事務局長）	・政治、経済ともに安定した先行きが見通せないことから、堅実な消費行動に踏み出せない消費者の姿が伝わってくる。在阪百貨店の増改オープンが消費を刺激すると思われるが、消費も大阪へ流出してしまう懸念を併せ持っている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・今年のクリスマスイブは休日であり、繁華街に人出はあまり見込めず、当日の売上も期待できない。年々季節商材を売り始める時期が早まっているので、なんとか平年並の売上を目指している。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・これ以上、悪くなる要素も良くなる要素も見当たらない。
		百貨店（企画担当）	・猛暑、残暑に影響された消費性向の低下は、なかなか回復の兆しがみえない。
		スーパー（企画担当）	・年末に向けて、年末商材の不足（数の子他）など売上につながる商材に不安がある。
		コンビニ（店長）	・年末に向けて節約志向が続くと考える。
		コンビニ（総務）	・来客数が増加するような景気回復への刺激や消費を喚起させる施策がないため、変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・11月～1月は、衣料品店にとって佳境の月に入る。しかし、暖冬の予想もあることから、数字は昨年を上回ることはないと思っている。
		衣料品専門店（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
		衣料品専門店（総務担当）	・気温の影響が大きい商材の為、気温の低下とともに景気はよくなっていくと思われるが、全体としては低調に推移しそうである。
家電量販店（営業担当）	・パソコンに関しては、新商品が発売となったことで、活気付くことが期待でき、他の家電にも多少の良い影響を与えてくれるのではないかと思う。しかし、テレビの需要が見込めず、不透明感はぬぐえない。		
乗用車販売店（役員）	・エコカー補助金が終了し、新車登録車数は減少してきているが、予想よりも落ちていないので現状維持で推移しそうである。下期はモデルチェンジの車も販売されるので、期待している。		
観光型旅館（経営者）	・国内旅行が伸びていないということから、今の状態が続くのではないかと思う。四国は全体的にあまり良くなく、他の地域との競争に負けている。料金見直し等、上手な売り方をしていかなければならないと思っている。		
通信会社（企画）	・特に変化するような要因が見つからず、変わらないと予想する。		
通信会社（営業担当）	・新商品の市場投入により販売数の伸びが期待できるものの、前年等と比較して数値が大きく動く要素には乏しい。季節変動による伸びにとどまると想定する。		
美容室（経営者）	・年末は繁盛期であるものの、不景気感が強く消費動向の盛り上がりには欠けると予想する。		
設計事務所（職員）	・年末から年度末にかけては、納期物件が多くなって、繁忙期に入るが、良くも悪くもないまま、年度末まで推移するものと見込まれる。防災・減災に係わる公共事業の縮小が懸念されているが、社会資本が不足している地方では、防災・減災事業は必要である。		
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要は見られず、短期間では変化はないと思われる。		

	やや悪くなる	商店街（代表者）	・経済が安定しない、過剰供給が縮小され需給バランスが良くならないと環境は厳しい。消費税増税が行われると、中小零細企業は持たない。	
		百貨店（総務担当）	・来店客数が減少傾向にあり、やや悪くなると予想する。	
		百貨店（営業担当）	・今後の消費税率引上げなどが、消費マインドを鈍くさせているように思われ、やや悪くなると予想する。	
		スーパー（店長）	・消費税増税や復興増税など家計負担増大の話題が多く、消費マインドをさらに低下させると思われる。	
		スーパー（財務担当）	・年末が売上の最大の山場であるが、毎年縮小傾向にある。政治・経済環境から大きな期待は持てない。	
		スーパー（統括担当）	・消費税増税など先行きが不透明であり、やや悪くなると予想する。	
		スーパー（人事）	・消費税増税を忘れさせるほどのプラス要因がない。節約志向はより進んでいる。	
		衣料品専門店（経営者）	・政局が安定しないため、やや悪くなると予想する。	
		乗用車販売店（従業員）	・新車購入補助金の終了に伴う反動が今後半年以上続くと予想され、景気の悪い状況がしばらく続くと思う。	
		都市型ホテル（経営者）	・予約の状況があまり良くない。また、デフレ経済の底がみえないこともあり、客の財布のひもは堅く、やや悪くなると予想する。	
		旅行代理店（支店長）	・中国や韓国との関係悪化が続く中、観光や出張での海外旅行需要の落ち込みがまだまだ続くものと思われる。	
		タクシー運転手	・冬には、お遍路の仕事がほとんどないので、やや悪くなると予想する。	
		観光名所（職員）	・閑散期を迎えるため、やや悪くなると予想する。	
		ゴルフ場（従業員）	・来場者、客単価ともに伸びないと予想する。	
	悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気も悪く、人口が減る一方で、良くなる要素が見当たらない。	
		スーパー（店長）	・今後、景気が上向き要素がなく、さらに悪化するものと思われる。	
		乗用車販売店（従業員）	・現在の販売量や客の様子から、景気が良くなる見込みはない。政府の施策で業績が浮き沈みすることは、よくわかっている。	
		住関連専門店（経営者）	・販売量が伸びないのは、政治の混乱が強く影響しており、個人消費は悪い。	
企業 動向 関連  (四国)	良くなる	—	—	
		やや良くなる	農林水産業（総務担当）	・気温の低下によって冬の食材提案等が活発化し、需要が増えて荷動きが活発化すると見込む。
			繊維工業（経営者）	・全体的に厳しい中、新しい形態の小売店舗も増えているので、今後はその分野に販路拡大を図ってゆく。
			パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・例年、11～12月は受注が増える。また、1～2月は新商品の受注が大量に入っており、やや良くなると予想する。
			輸送業（支店長）	・顧客からの納品価格の引下げ申し入れや燃料費高騰による費用増があるが、公共事業増による収入拡大が図れるため、やや良くなると予想する。
			変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）
			建設業（経営者）	・公共事業も民間工事も受注見通しが立てられないため、変わらないと予想する。
			建設業（総務担当）	・受注金額、件数とも前年を上回っているが、利益確保が難しい状況は変わらない。
			輸送業（経営者）	・本当は悪いが、政局が変化する期待感から変わらないと予想する。
			通信業（部長）	・新商品の発売に期待したいが、取引先企業での商談は通信費節減提案に終始し、新規需要の要望はあまり多くない。
広告代理店（経営者）			・新しい得意先の広告やイベント等の受注見込みは多少あるが、地元資本の得意先の多くは広告費削減が続いており、エコカー補助金終了に伴う影響も予想されることから、あまり変わらない見込みである。	
広告代理店（経営者）			・クライアントの状況も大きく変わらない。	
	やや悪くなる	食料品製造業（商品統括）	・韓国や中国との関係悪化による閉塞感が強く、やや悪くなると予想する。	
		木材木製品製造業（経営者）	・消費増税の駆け込み需要はあまり見込めないと思う。原材料は上昇しており、良くなる見込みがない。	
		電気機械器具製造業（経理担当）	・国内では特例公債法案成立が遅れ、国公立の大学病院の予算執行も遅れていることから、今期の販売が中止になっている。海外も依然として、北米、欧州を中心に輸出の回復が見込めず、販売目標を達成するのは非常に難しい状況に陥っている。	

		輸送業（営業）	・同業他社による運賃ダンピング営業の影響を受け、荷主から運賃値下げや倉庫の無償貸与等の過度なサービスを要請される事例が増えてきた。経営の安定を保持する為には、適正価格を大幅に下回る運賃での発注は断らざるを得ない状況にある。荷主の減収分の穴埋めを物流コスト圧縮に求める傾向が続く限り、輸送業は厳しい。
		金融業（融資担当）	・建設業界の指名停止や南海地震による津波の被害を想定した地価下落により、投資意欲は更に低下する可能性がある。
		公認会計士	・倒産した企業の影響が非常に大きいことや、来年3月の中小企業金融円滑化法終了に向けて銀行が融資の見直しを行っているという話を聞く。そういうことが今後の景気の足を引っ張り、やや悪くなると予想する。
	悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・円高の影響で、受注が激減すると予想しており、悪くなると予想する。
雇用 関連  (四国)	良くなる	—	—
	やや良くなる	—	—
	変わらない	人材派遣会社（営業）	・年末の繁忙期に向けて景気が上向くと予想されるが、季節労働者は改正労働者派遣法で禁止されているため、ミスマッチが懸念される。
		求人情報誌（営業）	・求人でのマッチングが停滞しており、事業活動が大幅に改善するとは考えにくい。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率は前月比で、0.01ポイント上回っているが、パートや臨時など、短期的な求人が増えているため、現状と変わらないと予想する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人件数は伸び悩んでいる。今後開催される合同面接会等の参加企業も減少し、次年度採用に切替わる企業もでてきており、見通しは明るくない。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（従業員）	・年末になるにつれて求人数の減少が見込まれる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内建設業界の談合摘発や地方交付税の遅れ等が厳しく影響してくると予想される。
		職業安定所（職員）	・大型官製談合事件による指名停止期間が雇用へ影響することを懸念している。
		職業安定所（職員）	・国内需要は依然として厳しさが残るものの、緩やかな改善の動きがみられる。ただし、欧州の信用不安の不安材料もあり、景気や雇用には及ぼす影響について、引き続き注視する必要がある。
民間職業紹介機関（所長）		・今冬の賞与を昨年より減額する企業が多い。売上不振、先行き不透明なことから内部留保に廻すという理由で減額するようだ。	
悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・労働者派遣法改正の影響により、企業での雇用形態の変化（直接雇用）がみられ、派遣業に影響がでている。	